

2025年9月17日

株式会社日立ソリューションズ

## 生成 AI の社内利用率 100%をめざして開催したアイデアコンテストで、1,000 件超の応募

輸出管理業務で活用できるエージェンティック AI が最高位の社長特別賞を受賞



生成AI活用のアイデアコンテストの最終審査会の様子

株式会社日立ソリューションズ（本社：東京都品川区、取締役社長：森田 英嗣／以下、日立ソリューションズ）は、AI を駆使して業務を変革する AI トランスフォーメーション（AX）の全社での推進活動の一環として、生成 AI 活用のアイデアコンテストを開催しました。日立ソリューションズグループより 1,000 件を超える応募があり、9 月 3 日に実施された最終審査会では、社長特別賞 1 件を含む優秀な事例やアイデア 10 件を選出しました。

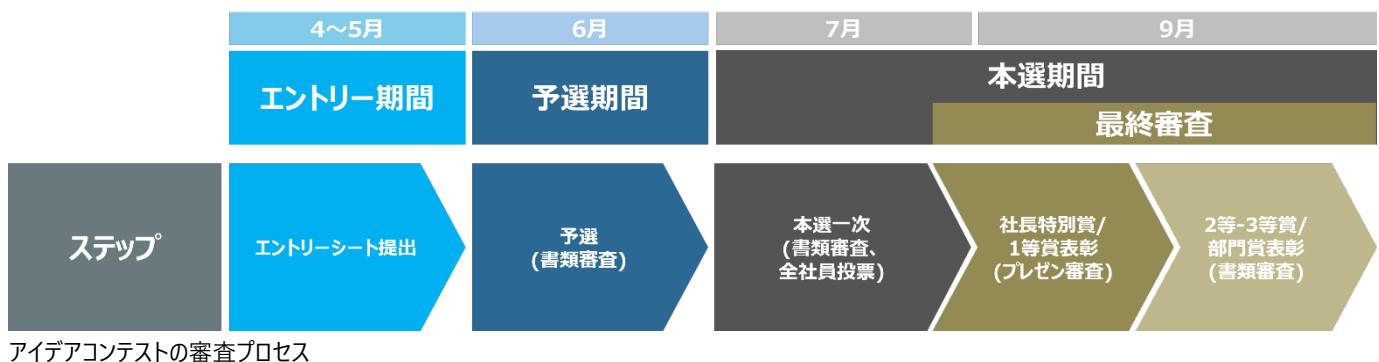
日立ソリューションズは、2024 年度より「DX by AX toward SX」をスローガンとして掲げ、持続可能な企業経営や社会の実現に向けて、AI の活用を通じた DX を加速させています。具体的には、専門組織を設置し、お客さまに提供するソリューションの高度化、開発や業務の効率向上、リスク管理とガバナンスの 3 つの観点から、AI、生成 AI、AI エージェントの活用を全社で促進しています。アイデアコンテストは、生成 AI を当たり前に使う企業風土の醸成と、生成 AI の社内利用率 100%をめざす施策として開催しました。社長特別賞は、輸出管理業務のキャッチオール規制審査で活用された自律型 AI エージェント（エージェンティック AI）です。その他の受賞案件も AI エージェント化を進め、社内実証やお客さまへの提供も視野に入れています。

### 生成 AI 活用のアイデアコンテストについて

アイデアコンテストは、生成 AI や AI エージェントの法人向け導入、活用およびデジタル人材の採用、育成、評価を支援する株式会社ギブリー（本社：東京都渋谷区、代表取締役社長：井手 高志／以下、ギブリー）の支援のもと、実施しました。募集テーマは、身近な業務課題などを解決する「社内業務全般の改善」と、「開発技法・プロセスの改善」の 2 つで、利用中から構想段階のものまで幅広く対象としました。

4 月に募集を開始し、6 月の書類審査の予選では、1,000 件を超える応募の中から実用性や成果が期待される約 100 件を選出しました。本選一次の社員投票、ギブリーの有識者 3 名や日立ソリューションズのデータサイエンティストらを

含む事務局による書類審査を経て、20件のアイデアが残り、9月3日にプレゼン形式での最終審査を実施しました。最終審査では「実現可能性」、「効果」、「発展性と横展開可能性」の3点で評価され、最高位の社長特別賞、優秀な事例やアイデアを選びました。



### 最終審査で評価されたアイデアについて

社長特別賞を獲得したのは、Hitachi Solutions America, Ltd.にて開発された、輸出管理業務のキャッチオール規制審査におけるエージェンティック AI です。キャッチオール規制審査は、取引相手が輸出規制の対象に該当しないかを事前に審査し、国際的な信頼性と責任を担う業務です。エージェンティック AI を活用することで、審査対象企業の情報収集から分析、審査レポートのドラフト生成、問題点の調査、レポートの完成までを自動化しました。AI が自律的にドラフトから問題点を特定し、調査計画を立案、実行することができるため、審査時間の約 60% 短縮を実現した点などが評価されました。

このほか、新規事業検討におけるスタートアップの商材調査を効率化する AI エージェントや、IT 技術者のスキルシートと製品情報を照合し、最適な協力会社を自動提案する生成 AI、ソースコードをもとに仕様説明資料を自動生成する AI など、10 のアイデアに賞が贈られました。

### 背景

近年、AI は業務効率化や創造性の向上において大きな可能性を持つ技術として注目されています。

日立ソリューションズグループは 2024 年より、IT 人財不足に備えた生産性向上、市場での競争力強化に向けて、AI、生成 AI、AI エージェントの活用を企業文化の一部として定着させる取り組みを推進しています。

最初に策定したのが、AI 活用に関する全社スローガン「DX by AX toward SX」です。このスローガンの下、国内外の拠点の従業員一人ひとりが生成 AI を活用し、開発現場や営業、スタッフ部門においても業務の質とスピードを向上させ、より高い付加価値を創出することをめざしています。

社内で取り組む事例として、情報セキュリティや勤怠入力などの社内問い合わせに対し、チャットボットが自動回答しています。また、イントラ上の専用ポータルサイトには、特定の業務向けの AI チャットボットや AI エージェント、生成 AI を活用した開発のユースケース、AI スキルの学習コンテンツが集約されています。社員の関心も高まっており、アイデアコンテストの期間中に開催した、アイデアを具体化するためのテクニックや生成 AI を適用する業務の見極め方などを学べるセミナーには、延べ約 850 人が参加しました。

日立ソリューションズが定期的に行っている全社調査では、生成 AI の社内利用率は 2024 年 6 月時点で約 20% でしたが、アイデアコンテストを含めたさまざまな施策の効果によって、2025 年 9 月頭時点で約 85% まで上昇しています。

### 日立ソリューションズにおける生成 AI の取り組み、提供ソリューションについて

<https://www.hitachi-solutions.co.jp/products/pickup/generative-ai/>

## 日立ソリューションズについて

日立ソリューションズは、お客さまとの協創をベースに、最先端のデジタル技術を用いたさまざまなソリューションを提供することで、デジタルトランスフォーメーションを実現します。欧米、東南アジア、インドの各拠点が連携し、社会や企業が抱える課題に対して、グローバルに対応します。

そして、人々が安全にかつ安心して快適に暮らすことができ、持続的に成長可能な社会の実現に貢献していきます。

詳しくは、日立ソリューションズのウェブサイト(<https://www.hitachi-solutions.co.jp/>)をご覧ください。

### ソリューションに関するお問い合わせ先

株式会社日立ソリューションズ

<https://www.hitachi-solutions.co.jp/inquiry/>

### 報道機関お問い合わせ先

担当：秋山、大鳥

株式会社日立ソリューションズ

経営戦略統括本部 経営企画本部 広報部

[koho@hitachi-solutions.com](mailto:koho@hitachi-solutions.com)

※ その他、本文中の会社名、製品名は、それぞれの会社の商標もしくは登録商標です。